

教育と研究の両立に 関する高等教育の 在り方

－R-T-Sネクサスを中心に－

講演

有本 章 氏

兵庫大学学長顧問

同高等教育研究センター長

広島大学名誉教授

ユネスコ世界科学委員会委員・アジア太平洋地域議長、日本教育社会学会会長、
日本高等教育学会会長などを歴任



9/28 (火)

15:00-17:00

Zoomによるオンライン開催

メイン会場（中継会場）：CeMDS
（三重大学 数理・データサイエンス館）

コロナ禍に象徴されるように世界的規模で社会と価値観が激しく変化している中で、現在の、そして未来の大学が果たすべき社会的責任もまた変化せざるを得ない。「教学マネジメント指針」は「予測困難な時代を生き抜く自律的な学修者を育成するためには、学修者本位の教育への転換が必要」とするが、大学の資源は有限との視点を持ちながら学修者本位の教育を実現する高等教育の在り方とはどのようなものだろうか。

本講演会では、昨今の大学を取りまく情勢を意識しつつ、これまでの高等教育の理念や役割等の経緯を総括したうえで、教育と研究の両立に関する高等教育の在り方についてR-T-Sネクサスの観点からとらえ、学修者本位の教育の実現・教育の質保証確立について改めて考える。

主催：三重大学 高等教育デザイン・推進機構

申込先

<https://forms.gle/vUK3tFzQw1YY6EUU7>

問合せ

高等教育デザイン・推進機構FD担当 fd@dhier.mie-u.ac.jp

